

2022年6月10日

ロシア連邦 大統領

ウラジーミル ウラジーミロヴィチ プーチン 閣下

北海道岩内町長 木村清彦

### ロシア連邦のウクライナ侵攻に対する抗議

世界の平和と安全、人類の幸福は、世界諸国民の共通の願いであります。

このたび、2月24日、貴国がウクライナへ軍事侵攻を行ったことは、全世界の人々の願いに逆行するものであり、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国際連合憲章に反する行為として、断じて容認できるものではありません。

武力による侵略は、罪のない多くの市民の犠牲を生み、恒久平和を希求する世界の人々の思いを踏みにじるものです。

本町は、1986年3月20日にあらゆる国の核兵器の廃絶を求め、平和と安全、人類の幸福に寄与すべく、「非核・平和の町宣言」を行い、世界の恒久平和の実現を願っており、このたびの暴挙は、誠に残念であり、極めて遺憾であります。

ここに、岩内町民の代表として、また、平和首長会議の一員として、ロシア軍の完全撤退と一刻も早い平和的解決に向けた外交努力を強く求めます。